科　目　名				学年
国語Ⅳ　：　Japanese Ⅳ				4S
教　員　名	赤迫　照子　：AKASAKO Shoko			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○

授業概要	
	和歌の演習を通して、文章や口頭で説明をする力を身につける。レジュメと読み原稿作成・演習発表・質疑応答・司会進行を行い、各場面で必要な読む力・書く力・話す力・聞く力を鍛える。

到　達　目　標	評　価　方　法
(1)読む力：和歌を解釈し鑑賞する。収集した資料を読解する。レジュメを読み、発表内容を理解する。 (2)書く力：レジュメと読み原稿を作成し、自分の考えを的確に表現する。発表のポイントについてメモをとる。 (3)話す力：聞き取りやすい話し方で、発表・質疑応答・司会進行をする。話しことばと書きことばの違いをふまえて話す。 (4)聞く力：発表のポイントを聞き取る。質疑応答でとりあげられていることを理解する。	①演習発表（50%）、②期末試験（30%）、③レポート（20%）により評価する。

学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(2)	(f)

授業計画	回	項　目	内　容
	第1	ガイダンス①	シラバスを熟読し、授業概要・到達目標・授業計画等を理解する。 演習発表及び司会進行の手順・レジュメの作成方法を理解する。 質疑応答では具体的にどのようなことを述べればよいのかを理解する。 聞き取りやすい話し方を学習する。 発表を聞き、重要なポイントについてメモをとる方法を学習する。 変体仮名の読み方を習得する。
	第2	ガイダンス②	
	第3	演習準備	
	第4	演習発表①	演習発表の手順は以下の通りである。 ○発表は1名ずつ、各自1首を担当する。 ○レジュメは和歌本文と字母・語釈・現代語訳・鑑賞と問題点を記す。 ○レジュメによる発表の後に、質疑応答を行う。 ○発表の最後に、司会進行役がまとめを述べる。 ○発表や司会進行に対する感想・意見を書き、次の授業で提出する。 また、論理的な文章を書く力を鍛えるために、新書を対象とした読書レポートを作成し提出する。
	第5	演習発表②	
	第6	演習発表③	
	第7	演習発表④	
	第8	演習発表⑤	
	第9	演習発表⑥	
	第10	演習発表⑦	
	第11	演習発表⑧	
	第12	演習発表⑨	
	第13	演習発表⑩	
	第14	演習発表⑪	
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業アンケートを行う。

自学自習の内容	レポート作成のために、普段から新書を読む。
関連科目	国語Ⅰ、国語Ⅱ、国語Ⅲ
教　科　書	
参　考　書	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備　　考	